

住民意見の聴取・反映方法の検討について

．一般からの意見募集について

1．目的

4月中旬に予定している中間意見とりまとめに、広く一般の方々の意見を反映させるために、これまで実施していた意見募集とは異なり、より広い対象に向けて募集テーマや期間を設定した上で意見募集を行う。また、寄せられた意見については、会議の場で直接意見を聴くことも想定している。

2．実施主体

淀川水系流域委員会として行う。

3．テーマ、対象エリア等

別添チラシ参照

4．募集、呼びかけの方法

下記の方法により、意見募集を行う。

新聞への広告掲載、ホームページ、ニュースレター、チラシ設置等による呼びかけ
全国5大紙＋6地方紙に広告掲載等

お願い状とチラシの送付

送付先：委員から推薦のあった個人または団体

河川に関係している団体（河川管理者からのリスト提供および庶務によるリスト作成）

NPO、市町村、河川に関係する団体 計1,206ヶ所

5．スケジュール

12月6日～ HPへの掲載、チラシ配布、新聞への広告掲載などにより募集開始

12月20日 意見募集締め切り

12月28日 運営会議を開催し、集まった意見について議論する

6．応募状況

41件（12月14日18時現在）

．各部会の状況

琵琶湖部会

12月21日 「意見聴取の試行のための会」実施予定

淀川部会

～1月上旬 寄せられた意見のなかから意見陳述者を選出

1月下旬 意見をお伺いする会を実施

猪名川部会

1月下旬 一般からの意見聴取の会を実施予定

< 松本委員からのご意見 >

余野川ダムについての公開討論の提案

余野川ダムの必要性については慎重に検討する必要があると感じています。水需要の点では、必要性が少ないのではないかと考えていますが、治水上果たして必要不可欠なのかどうか判断がつかねています。余野川ダムを造るか否かは、猪名川流域の治水対策に大きく影響すると考えられますので、この問題についてある程度方針を決めてからでないと話が進まないようにも思えます。

そこで、余野川ダムの必要性について、反対する立場の専門家グループと支持する専門家グループに委員会に出席いただき、公開討論をしてもらってはどうか？その場で委員からの質問もさせていただければと考えております。米山部会長さんにもお伝えいただければと思います。